

# いろは



住所：台北市慶城街28号 通泰商業大樓  
TEL：02-2713-8000 FAX：02-2713-0705  
HP：http://www.koryu.or.jp/nihongo/（日本語センター）

24

2007年3月30日発行

発行：財団法人交流協会日本語センター 編集：中尾真樹・劉皓盈 編印：加斌有限公司

## 日本語専門課程を設置している中等教育機関

「いろは」22号で日本語関連学科を有する高等教育機関を紹介したのにつづき、今回は日本語専門課程を設置している中等教育機関を紹介する。中等教育機関には日本の中学校に相当する国民中学と、普通高校・職業高校に相当する高級中学・高級職業学校（両者を合わせて高中職と称する）が含まれるが、国民中学ではほとんど日本語教育が行われていないので、ここでは高中職を対象を絞ることとした。

現在、日本語専門課程を設置している高中職は、台湾に28校ある。すべて私立で、日間部だけの学校は16校、進修部（夜間部）を併設している学校は10校、進修部だけの学校は2校である。日間部だけを見ても、一学年の生徒数が二十数名ほどの小規模なところから、三百人を超えるという学校までさまざまであるが、一クラスのみを開設しているところが半分以上を占める。

高中職のカリキュラムには履修内容により、高中部・高職部・総合高中という三つのコースがある<sup>1)</sup>。高中部・高職部は普通高校・職業高校に相当し、一年次からそれぞれ独自のカリキュラムが組まれている。これに対して総合高中は、一年次は各クラス共通の科目を学び、二年次から学術学程と技職系の学程に分かれる<sup>2)</sup>。



静修女子高級中学（台北市）での日本語の授業

高中職における日本語専門の課程には、高職部に属する応用外語科日文組と、総合高中に属する応用外語学程日文組の二種類あり、後者は二年次から日本語専門科目を学ぶことになる。一つの学校に二種の日文組が混在するケースは多いが、専門課程に入る時期が違うので、両者の区別には注意が必要である。

文責：（財）交流協会日本語専門家 中尾真樹

- 1) 各コースの正式名称は教育部によって定められていないため、学校ごとにそれぞれ独自の名称を用いている。本稿では比較的広く用いられている名称を採用した。
- 2) 総合高中では専門課程を学程と称する。

表 日本語専門課程を開設している中等教育機関  
台北市

学校名	種類	課程名	日間/進修	〒	住所
金甌女子高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	106	台北市大安区光明里杭州南路2段1号
	総合高中	応用外語学程日文組			
	高職部	応用外語科日文組			
静修女子高級中学	総合高中	応用外語学程日文組	日間	103	台北市大同区双連里寧夏路59号
泰北高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	111	台北市士林区福林里福林路240号
育達高級家事商業職業学校	高職部	応用外語科日文組	日間	105	台北市松山区美仁里寧安街12号
			進修		
協和高級工業商業職業学校	高職部	応用外語科日文組	日間	110	台北市信義区忠孝東路5段790巷27号
			進修		
稻江高級護理家事職業学校	高職部	応用外語科日文組	日間	104	台北市中山区新生北路三段55号
稻江高級商業職業学校	高職部	応用外語科日文組	日間	103	台北市大同区国昌里民権西路225巷24号

## 台北県

学校名	種類	コース名	日間/進修	〒	住所
淡江高級中学	総合高中	応用日語学程	日間	251	台北県淡水鎮真理街26号
光華商業職業進修学校	高職部	応用日語科	進修	220	台北県板橋市南雅南路二段40号

## 基隆市

光隆高級家事商業職業学校	高職部	応用外語科日文組	日間	201	基隆市信義区信二路264号
--------------	-----	----------	----	-----	---------------

## 桃園県

治平高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	326	桃園県楊梅鎮埔心中興路137号
		商用日文科 <sup>1)</sup>	進修		
新興高級中学	高職部	応用外語科日文組 <sup>2)</sup>	日間	334	桃園県八徳市茄苳村永豊路563号
	総合高中	応用外語学程日文組			
	高職部	応用外語科日文組/ 商用日文科 <sup>3)</sup>	進修		

- 1) 95年度は前期のみ開設  
 2) 95年度から開設  
 3) 95年度から応用外語科日文組に改称

## 新竹市

光復高級中学	総合高中	応用外語学程日文組	日間	300	新竹市東区光復路二段153号
曙光女子高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	300	新竹市東区北大路61号

## 新竹県

忠信高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	304	新竹県新豊郷忠信街178号
	総合高中	応用外語学程日文組 <sup>4)</sup>			

- 4) 94年度から開設

## 台中市

新民高級中学	高職部	応用外語系日文組	日間 進修	404	台中市北区三民路三段289号
宜寧高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	402	台中市南区復興路二段45号
明德女子高級中学	総合高中	応用外語学程日文組	日間	402	台中市南区明德街84号
	高職部	応用外語科日文組	進修		

## 台中県

僑泰高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	412	台中県大里市樹王路342号
慈明高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	411	台中県太平市光徳路388号

## 彰化県

天主教文興高級中学	総合高中	応用外語学程日文組	日間	520	彰化県田中鎮員集路三段93号
正徳高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	500	彰化県彰化市荊桐里彰水路145号
	総合高中	応用外語学程日文組 <sup>5)</sup>			
	高職部	応用外語科日文組	進修		

- 5) 93年度から募集停止

## 高雄市

樹徳高級家事商業職業学校	高職部	応用外語科日文組	日間	807	高雄市三民区建興路116号
	総合高中	応用外語学程日文組			
国際高級商工職業学校	高職部	商用日文科	進修	802	高雄市苓雅区三多二路84号
三信高級家事商業職業学校	高職部	応用外語科日文組	日間	802	高雄市苓雅区三多一路186号
			進修		

## 高雄県

中山高級工業商業職業学校	総合高中	応用外語日文組	日間	831	高雄県大寮郷会社村正気路79号
--------------	------	---------	----	-----	-----------------

## 屏東県

屏東高級中学	高職部	応用外語科日文組	日間	900	屏東県屏東市豊田里民学路100号
	総合高中	応用外語日文組 <sup>6)</sup>			

- 6) 94年度から開設

## 花蓮県

四維高級中学	総合高中	応用外語日文組	日間	970	花蓮県花蓮市中山路一段200号
--------	------	---------	----	-----	-----------------

## 「ピア・ラーニング」 協働による創造的な学びの場をデザインする

館岡洋子氏(東海大学留学生教育センター教授)

池田玲子氏(東京海洋大学海洋科学部教授)

### ◆ピア・ラーニング:

#### 協働の考え方に基づくピア・ラーニング(peer learning)

「ピア・ラーニング」とは、仲間の学習者(ピア)同士で学ぶ学び方で、協働の理念に基づいています。「協働」の概念は最近の日本では、実に多くの分野に広がってきています。協働の定義のひとつには、次のようなものがあります。「各構成員は異なる役割を担い、個々の能力を発揮する。さらに構成員の努力した結果が、相互作用によって、構成員個々の成果の総計以上のものになる」(Lepper & Whitmore 2000)。つまり、人と人が協力し合うことで、単なる足し算の結果を超えた成果が得られることを意味しています。ここで言う成果とは、協働によってなった新たな作品や問題解決策だけでなく、協働するプロセスで育まれる人と人との信頼関係も含まれます。

ピア・ラーニングが出てきた背景には、教育や学習に対する考え方が変わってきたことがあげられます。つまり、学ぶということは知識の多い先生から一方的に知識を受け取るのではなく、学び手が主体的に知識を構成していくものだという考え方に転換してきたのです。では、日本語の読解と作文のピア・ラーニングをご紹介します。

### ◆ピア・リーディング(協働的読解学習)

ピア・リーディングとは、「学習者同士が助け合いながら、テキストを理解していく読みの活動(館岡2000)」です。この学習方法は、受身的、一方的になってしまいがちな読解授業の問題点を解決するために、読解過程の研究(館岡2001)から考え出したものです。他者(仲間の学習者)との対話により読みの過程を共有することによって、自分と他者との違いから気づきを得て、理解進化を目指すものです(館岡2005)。

ピア・リーディングの実践では、他者は①自分の知らなかった知識を与えてくれる人的なリソースとして機能するとともに、②自分と他者との違いから自分の理解の見直しを迫る存在として機能していることが観察されました。また、このような認知的な面ばかりでなく、③情意面でも仲間との社会的な関係性の構築の仕方を学んだり、学習への動機づけを高めたりする様子が観察されました。ピア・リーディングは、わからないときに助け合ったり、わかったつもりになっている自らの理解に揺さぶりをかけたりすることによって、理解をより深めることに貢献するといえるでしょう。

### ◆ピア・レスポンス(協働的作文学習)

ピア・レスポンスとは、「作文学習の中で学習者同

士が自分たちの作文をよりよいものにしていくために仲間(peer)同士で読み合い、意見交換や情報提供(response)を行いながら作文を完成させていく活動(池田2004)」です。

日本語作文指導は従来、主に教師添削によって進められてきました。しかし、この指導には、いくつかの問題点が指摘されてきました。①作文の目的や読み手が不明、②作文の学習と文法・語彙の学習との区別が曖昧、③添削する教師の負担、などです。こうした問題点の解決策の一つとして、日本語教育にもピア・レスポンスが提案されました。ピア・レスポンスによる作文学習は、推敲のために読み手と協力的な検討を行うことで、読み手を意識化した作文プロセスが展開されると同時に、学習活動の中で仲間との社会的関係を構築していくことになります。教師主導の添削指導が奪ってしまいがちな学習者自身の学びの機会を提供することができます。しかしながら、教師主導の教育背景をもつ東アジアの教師と学習者において実施する場合には、この活動の意義や目的の明確化と活動への慣れのための緩やかな導入の工夫が必要となってきます。

### ◆ピア・ラーニングの教師の役割

ピア・ラーニングは仲間同士で学ぶ活動だからといって、教師が何もしなくてもよいというわけではありません。①学びが起きるような場としての授業をデザインします。②実際の授業では、参加者が学べるように必要に応じて参加者が持っているものを引き出したり、活動を促進したりします。③また、教師自身が人的リソースとして知識を提供することも必要でしょう。そのほかにも④コーチとして長期的な視点から学習者を支援したり、⑤教室外の学習環境とのつながりを作っていくコーディネーターとしての役割もあるでしょう。学習者が創造的に学ぶことができるようにピア・ラーニングを試みてみませんか。

### 参考文献

- 池田玲子(1999)「ピア・レスポンスが可能にすること 中級学習者の場合」『世界の日本語教育』第9号 国際交流基金 pp. 29-43.
- 池田玲子(2004)「日本語学習における学習者同士の相互助言(ピア・レスポンス)」『日本語学』2004年1月号 明治書院 pp. 36-50.
- 池田玲子・館岡洋子(印刷中)『ピア・ラーニング入門』ひつじ書房 4月出版予定
- Lepper & Whitmore(2000)「協同—社会心理学的視点から」植田一博・岡田猛編著『協同の知を探る』共立出版
- 大島弥生・池田玲子・加納なおみ・大場理恵子・高橋淑郎・岩田夏穂(2004)『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房
- 館岡洋子(2000)「読解過程における学習者間の相互作用—ピア・リーディングの可能性をめぐって—」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要23』25-50.
- 館岡洋子(2001)「読解過程における自問自答と問題解決方略」『日本語教育111号』66-75.
- 館岡洋子(2005)『ひとりで読むことからピア・リーディングへ—日本語学習者の読解過程と対話的協働学習—』東海大学出版会

### 第3回全国大学生日本語ディベート大会

主催：(財)交流協会・淡江大学 指導単位：教育部

協賛：日本亜細亜航空・郵船通運股份有限公司

国立教育廣播電台・傑士達文化事業有限公司

大立伊勢丹百貨股份有限公司・寒軒國際大飯店

漢神名店百貨股份有限公司・大船股份有限公司



3月10・11日、淡江大学(淡水キャンパス)において全国大学生日本語ディベート大会が開催された。11校12チームが出場し、「台湾は小学校の教育において注音字母を廃止し漢語ピンインを採用すべきである」を論題に全国優勝の座を競い合った。

今大会から1回戦のみで敗退してしまうチームがないように、まずブロックごとに分かれて総当り戦を行い、各ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進むという方式で試合が進められた。大会の結果(団体賞)は、以下の通り。

	(大学名)	(チーム名)
優勝	静宜大学 日本語文学系	弁論アミーゴ
準優勝	東呉大学 日本語文学系	T5 EIGHT
第3位	東海大学 日本語文系	東海B
第4位	銘傳大学 応用日本語学系	微笑ディベート

また、今大会では立論、質疑、第一反駁、第二反駁の各担当ごとにベストディベーター賞(速度、音量、発音など適切な表現力等を評価したコミュニケーション点を基準として決定される)が設けられた。大会1日目のパフォーマンスを基に審査が行われ、5名の精鋭が受賞した。受賞者は以下の通り。

ベストディベーター賞	(担当)	(氏名)	(大学名)	(学年)
立論		鄭依芸さん	淡江大学	4年生
質疑		林儀婷さん	淡江大学	4年生
		陳怡均さん	静宜大学	4年生
第一反駁		頼東寧さん	東海大学	4年生
第二反駁		林立挺さん	静宜大学	2年生

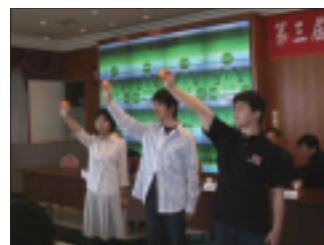
大会2日目、表彰式の前に今大会の試合を振り返って審査員代表による講評があった。まず、第一に試合の質が確実に向上しており、日本語ディベートのレベルが年々高くなっていることが述べられた。続いて今後の課題として、質疑の質を更に高め、反駁までうまくつなげる工夫が必要であることなどが指摘された。

この他、韓国より釜山外国語大学LEDSチームが特別参加したことも今大会の大きな特色の一つであった。台湾の学生に比べ馴染みの薄い論題に果敢に挑み、滞在中、練習試合(対淡江大学)と親善試合(対東呉大学)を1試合ずつ行った。結果こそ2敗に終わったが、閉会式では、台湾の学生とディベート大会を通して様々な交流ができたことに感謝の意を述べると共に、

今後韓国でもこのようなディベート大会を開くためのパイオニアとしてがんばりたいとディベートに対する熱い抱負を流暢な日本語で語り、会場からは大きな拍手が沸きあがっていた。

出場した学生からは、大会に参加して他の大学の学生の様子を目の当たりにし良い刺激になった、チャンスがあればまた参加したいなどの声が聞かれた。

当日の運営スタッフとして大会に参加した淡江大学日本語文学系の教職員・学生の活躍ぶりも特筆すべき点であった。

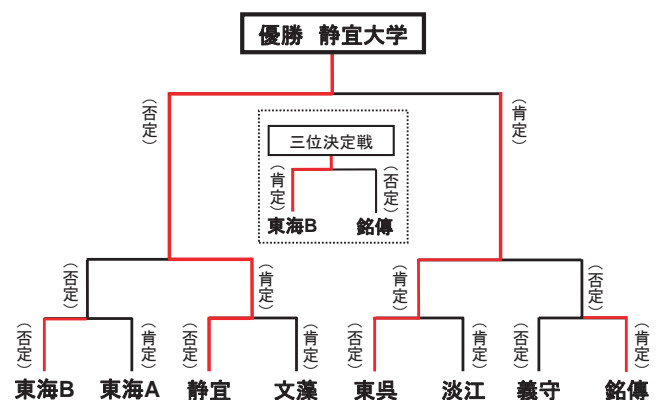


予選リーグ表(勝ちチームは赤)

Aブロック	肯定	否定	予選順位	Bブロック	肯定	否定	予選順位
第一試合	東呉	東海B	1位 東海B	第一試合	東海A	淡技	1位 東海A
第二試合	東海B	呉鳳	2位 東呉	第二試合	淡技	義守	2位 義守
第三試合	呉鳳	東呉	3位 呉鳳	第三試合	義守	東海A	3位 淡技

Cブロック	肯定	否定	予選順位	Dブロック	肯定	否定	予選順位
第一試合	静宜	銘傳	1位 静宜	第一試合	文藻	台中技	1位 淡江
第二試合	銘傳	南台	2位 銘傳	第二試合	台中技	淡江	2位 文藻
第三試合	南台	静宜	3位 南台	第三試合	淡江	文藻	3位 台中技

決勝トーナメント表



Bブロック予選において、本来は1位東海大学A、2位義守大学であったところ、集計のミスにより1位と2位が逆に発表されました。運営上の混乱を避けるため、発表された順位に従って試合を行った結果、東海大学A、Bは同大学同士での試合をすることになってしまいました。この点、東海大学に対しご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

## 第17回日本語教育実践講座

テーマ：「“気になるコトバ”の由来」

講師：田中章夫氏（東呉大学客員教授）

日時：4月14日（土）13：30～16：00

会場：文藻外語学院（高雄市三民区民族一路900号）

問合せ：交流協会高雄事務所文化室（07-771-4008）

概要：先生の著書「揺れ動くニホン語—問題なことばの生態—」から明治以来のさまざまな“ことば”キャンペーンを取り上げます。「ぼくネ、あしたサ、誕生日なんだヨ」といった類の子供っぽい、ぎこちない「ネサヨことば」を追放しようとした地域がありながら、一方で「美しいコトバ」を目指したことばなおしのキャンペーンで「～ネ」を推奨していた地域があったことなど、先生に分かりやすく解説していただきます。また、皆さまが日ごろ疑問をお持ちになっている“コトバ”を田中先生と一緒に考えようという受講者参加型の講演会です。

## 2007年度第1回日本語特別講演会

テーマ：「言語における普遍と特殊

—「僕はうなぎだ」は日本語だけか—

講師：奥津敬一郎氏

（東京都立大学名誉教授・東呉大学客員教授）

日時：4月14日（土）15:00～17:00

会場：交流協会台北事務所地下1F文化ホール

## 第38回中等教育機関日本語教師研修会

テーマ：「ウォーミングアップを再考しよう」

講師：岩崎良美日本語専門家（交流協会台北事務所）

日時：4月21日（土）14:00～17:00

会場：交流協会台北事務所3F日本語センター

概要：授業を始めるとき、授業開始までまだ時間があるとき、先生方は教室で何を話しているのでしょうか。またどんな教室活動を行っているのでしょうか。今回の研修会では、授業開始時に学習者をリラックスさせ、意識を授業に向けさせるためにどんな工夫ができるか、ウォーミングアップの時間について再考します。研修会中、参加者の皆様からも経験談などをお伺いし、皆さんで自身の授業を見直す良い機会になればと考えております。

## 第18回日本語教育実践講座（高雄）

## 第39回中等教育機関日本語教師研修会（台北）

テーマ：「聞くことを教える」

講師：横山紀子氏

（国際交流基金日本語国際センター専任講師）

日時と会場：

〈高雄会場〉5月19日（土）13:00～16:30

文藻外語学院（高雄市三民区民族一路900号）

〈台北会場〉5月20日（日）13:30～17:00

交流協会台北事務所3F日本語センター

概要：学習者に「聞くことを教える」ために教師は何をすればいいのでしょうか。学習者にテキスト（音声）を聞かせてどのくらい理解できたかチェックするということは、多くの教師がやっていると思います。研修会では、これ

に加えて、(1)どんなテキストを聞かせるか、(2)どのように聞かせるかの2点について考えたいと思います。(1)についてお伝えしたい最も大事な点は、未習の単語や表現を含んだテキストを聞かせるということです。(2)についての大事な点は、未習の単語や表現、聞き取れない部分を含んだテキストについて、理解を補う方策（ストラテジー）を練習させるということです。聴解授業を具体的に体験していただきながら、いっしょに考えていきましょう。

## 交流協会・杏林大学共催

## 杏林研修10周年記念日本語特別講演会

テーマ：「日本語の使い方」

講師：金田一秀穂氏（杏林大学外国語学部教授）

日時と会場：

〈高雄会場〉6月2日（土）13:30～15:30

文藻外語学院（高雄市三民区民族一路900号）

〈台北会場〉6月3日（日）13:30～15:30

交流協会台北事務所地下1F文化ホール

## 第20回日本語教育実践講座

テーマ：「高校の先生のための

日本語イマージョンプログラム（2）」

コーディネーター：

小川京子氏（中華民国対外貿易発展協会日本語講師）

上條純恵日本語専門家（交流協会高雄事務所）

日時：6月29日（金）10：00～16：30

会場：国立鳳山高級商工職業学校

（高雄鳳山巒山文衡路51号）

問合せ：交流協会高雄事務所文化室（07-771-4008）

概要：昨年行われたプログラムの第二弾です。この日は一日中たくさんの日本語を聞いたり話したりしながら、日本語教育の専門性を高める研修会です。今年は「文化初級日本語」の著者の一人である小川先生をお招きして、「文化初級日本語」を使って実践的で楽しい教室活動を紹介していただきます。また、プログラムの中に体験活動を盛り込みながら進める予定です。

## 第21回日本語教育実践講座

テーマ：「日本語教育における日本美の伝承」

講師：陳慶彰氏

（東呉大学非常勤講師・東呉丹尼企画責任者）

日時：7月14日（土）13:30～16:30

会場：文藻外語学院（高雄市三民区民族一路900号）

問合せ：交流協会高雄事務所文化室（07-771-4008）

概要：先生方は「日本文化」を日本語教育の中でどのように紹介していますか？この研修会では、陳先生が長年にわたって実践されてきた日本文化の授業を紹介していただきます。陳先生は日本独特の美しいコトバと日本文化を授業を通じて学生たちに教授してきました。テキストでは学べない日本美の世界を、テキストを超えて学生に伝える方法を教えていただきます。学生が目を輝かせて、生き生きとする魅力的な授業のアイデアを共有しましょう。

**公立私立高中第二外国語「日本語」  
合同学習成果発表会**

テーマ：「祭り」  
日 時：4月21日（土）9:00～12:00  
会 場：中崙高級中学（台北市八德路四段101号）  
問合せ：中崙高級中学教務処（02-27535316 #201）

**台湾日本語文学会**

◎講演会

テーマ：「日本語の敬語の攻略法  
—文化審議会の『指針』の意味」  
講演者：草薙裕氏（筑波女子大学教授）  
日 時：4月21日（土）10:00～12:00  
会 場：台湾YMCA城中会所2F（台北市許昌街19号）

◎例会

日 時：毎月第三土曜日 10:00～12:00  
会 場：台湾YMCA城中会所  
問合せ：台湾日本語文学会事務局  
（02-26215656 #2958）

**2007年台湾的東南亜区域研究年度研討会**

日 時：4月26日（木）・27日（金）  
会 場：実践大学高雄城区教学中心  
（高雄市苓雅区苓南路2号近四維路底）  
問合せ：実践大学高雄校区国際貿易学系  
（07-6678888 #4232）

**2007年日語教学国際会議**

日 時：4月28日（土）9:10～18:20  
会 場：東呉大学外双溪校区国際会議室  
（台北市士林区外双溪臨溪路70号）  
問合せ：東呉大学日本語文学系  
（02-28819471 #6532）

**主催：台湾応用日語学会**

**国立高雄餐旅学院応用外語系**

**2007年応用日語国際学術研討会**

日 時：5月5日（土）9:30～17:30  
会 場：国立高雄餐旅学院（高雄市小港区松和路1号）  
問合せ：国立高雄餐旅学院応用外語系  
（07-8060505 #1271）

**慈済大学語文教学学術研討会**

日 時：5月5日（土）10:00～18:10  
会 場：慈済大学（花蓮県花蓮市中央路三段701号）  
問合せ：慈済大学語言教学中心（03-8565301 #7690）

**2007年外語教学国際学術研討会**

日 時：5月7日（月）8:00～  
会 場：文藻外語学院 真求楼  
（高雄市三民区民族一路900号）  
問合せ：文藻外語学院外語教学系  
（07-3426031 #5203）

**2007年「中日文化の回顧と展望」国際シンポジウム**

日 時：5月12日（土）9:00～17:00  
会 場：中国文化大学曉峯紀念館国際会議庁  
（台北市陽明山華崗路55号）  
問合せ：中国文化大学日本語文学系所  
（02-28610511 #23205）

**主催：国文学研究資料館**

**「人物・キャラクターの視点による  
前近代文学史構築の研究」国際シンポジウム**

日 時：5月13日（日）  
会 場：国立台湾大学（台北市羅斯福路四段1号）  
問合せ：〈日本〉国文学研究資料館 相田満氏  
（aida@nijl.ac.jp）

**第一屆言語、言談與認知学術研討会**

**The First Conference on Language, Discourse and Cognition**

日 時：5月18日（金）・19日（土）9:00～17:30  
会 場：国立台湾大学文学院講演庁  
（台北市羅斯福路四段1号）  
問合せ：台湾大学語言学研究所（02-33664104 #303）

**2007年静宜大学『日本学と台湾学』  
及び第36回南島史学国際シンポジウム**

日 時：5月19日（土）9:00～17:40  
会 場：静宜大学会議ホール（任垣楼）  
（台中県沙鹿鎮中棲路200号）  
問合せ：静宜大学日本語文学系  
（04-26328001 #12012）

**2007立徳管理学院外語学群国際学術研討会**

テーマ：「21世紀応用外語之現在與未来」  
日 時：5月19日（土）8:30～17:00  
会 場：立徳管理学院（台南市安南区安中路五段188号）  
問合せ：立徳管理学院応用日語学系（06-2555611）

**2007年大葉大学応用日語学系国際学術研討会**

**—日本文化暨民俗・芸能・信仰—**

日 時：5月26日（土）9:20～16:55  
会 場：大葉大学国際会議庁  
（彰化県大村郷福興村山脚路112号路）  
問合せ：大葉大学応用日語学系（04-8511888 #6071）

**2007年国際シンポジウム**

日 時：6月9日（土）8:30～  
場 所：国立台中技術学院（台中市三民路三段129号）  
問合せ：国立台中技術学院応用日本語学科  
（04-22196443）

**第二屆跨文化研究中心研討会**

日 時：6月23日（土）8:10～  
会 場：国立政治大学（台北市文山区指南路二段64号）  
問合せ：国立政治大学翻譯中心（02-29387070）

**「外語能力測驗の動向と展望」国際学術研討会**

日 時：7月7日（土）9:00～（予定）  
会 場：国立政治大学公企中心（台北市金華街187号）  
問合せ：国立政治大学日本語文学系（02-29387685）

**『いろは』24号 目次**

- 1～2 台湾日本語教育情報源
- 3 日本語・日本語教育のキーワード
- 4 ディベート大会報告
- 5 研修会のお知らせ
- 6 台湾日本語教育関連情報